

令和6年9月近江八幡市教育委員会定例会（要旨）

1. 開催日時 令和6年9月26日（木） 午前9時30分～10時40分

2. 開催場所 近江八幡市水道事業所3階 AB会議室

3. 出席委員	教育長	安田 全男
	教育長職務代理者	重森 恵津子
	委員	西田 佳成
	委員	大更 秀尚

4. 事務局出席者

教育部長	太田 明文
教育総務課長	岡村 祥子
教育部次長兼学校教育課長	富江 康子
教育部次長兼生涯学習課長	清水 和仁
学校給食センター長	眞野 善博
近江八幡市立図書館長	奥村 恭代
スポーツ課長	村田 崇
国スポ・障スポ推進課長	伊崎 裕二
子ども健康部次長兼幼児課長	村北 幸司
教育総務課長補佐	夜野 友昭
教育総務課副主幹	竹浪 雄大

5. 会議を傍聴した者 0人

6. 会議次第

【議 案】

○なし

【協議事項】

○近江八幡市子ども・若者育成支援事業プロデュース業務委託業者選定委員会

設置要綱の制定について

- 近江八幡市立運動公園野球場ネーミングライツパートナー選定委員会設置要綱の制定について

【報告事項】

- 点検・評価ヒアリング結果について
- 9月市議会定例会における質問に対する回答等について
- 近江八幡市校務系システム更新サービス提供事業者選定委員会設置要綱について
- 近江八幡市外国語指導助手派遣事業者選定委員会設置要綱について
- 国スポ・障スポ会場装飾品製作にかかるクラウドファンディング（【LEGO で作ろう幻の安土城】クラウドファンディング）の実施について
- 令和6年度就学相談・支援に係る教育支援委員会の審議結果について（非公開）

7. 議事の経過

（1）開 会（日程確認）

- ・教育長が9月定例会の開会を宣言
- ・出席委員定数の確認
- ・日程について **承認**

報告事項

- 令和6年度就学相談・支援に係る教育支援委員会の審議結果について
非公開とすることの提案 **非公開**

（2）会議録の承認

- 8月定例会の会議録 **承認**

（3）教育長挨拶及び報告

委員の皆様方には、昨日の中学校体育大会・体育祭へご参加いただき感謝申し上げます。各校生徒会を中心に特色ある団体種目を考案されており、楽しく見応えがあり、大変良かったと思う。

それでは、3つ報告させていただく。

1つ目として、「生きる力から生き抜く力まで育成プログラム検討プロジェクトチーム」の第1回の会議を8月26日に開催した。今年度中に数回開催させていただき、来年度からの教育研究所における当プログラムの研究開発の仕様書に当たるようなものを作成していきたい。今後2回、3回と会議を開催していく予定であるが、その議事録等を含めて内容を委員の皆様にもお伝えし、定例会においてご意見を頂戴したいと考えているので、よろしくお願いしたい。

2つ目は、「子ども・若者育成支援事業」の取組だが、7月の定例教育委員会でご議論いただいた、旧人権センターを改修して新たに複合教育支援センターを創出する事業については、令和6年度現年分と債務負担行為を合わせて、建物改修のための設計委託費が34,844,000円、総合プロデュース委託費が19,975,000円、それぞれ本議会において予算議決いただいたところである。

3つ目として、本議会閉会後の全員協議会の場で、私から市議会議員全員に対して「中学校部活動強化支援」の取組についてご説明させていただき、ご理解ご支援をお願いしたところである。この中学校部活動強化支援の取組については、9月24日の市長の定例記者会見において、市長のご説明に続いて概要を私から説明させていただき、新聞報道もあったところである。

また、来年度に向けた体制整備として、10月1日に向けて、子ども・若者育成支援事業に新たに1名の担当者、中学校部活動強化支援に新たに1名の課長補佐の増員内示をいただいたところである。これまで教育委員会委員の皆様にご議論いただいてきた大きな取組が、いよいよ緒に就こうとしているところであり、これまでの皆様の子ども本位の真摯な教育委員会委員としての取組に感謝を申し上げるとともに、引き続き皆様の多様なご意見をいただき、教育委員会としての幼児・児童・生徒目線での確かな取組をさらに重ねてまいりたいので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

(4) 議事

●協議事項

◎近江八幡市子ども・若者育成支援事業プロデュース業務委託業者選定委員会設置要綱の制定について

【事務局説明】…生涯学習課

【意見等】

○大更委員

プロポーザルの後、旧人権センターの改修を進めることになると思うが、子どもたちと若者が気軽に入れて、居場所となるような所にしてほしい。現在のマナビィには、残念ながらそこまでの配慮がなかったと思うので、そうしていただけるとありがたい。

○生涯学習課

そういう部分についても、プロデュースを進めていただき、より良いものにしていきたいと考えている。

○重森委員

学校にいる間だけでなく、学校を卒業した後の若者も対象にしてい
ている事業ということで、本当に困っていて支援を必要とする子ども・若者の
ために、より良い取組を企画してくださる業者を選定いただけるように、よろ
しくお願いしたい。

○生涯学習課

今後実施要領や仕様書を作成していく中で、そういう部分もしっかりと反
映できるように進めてまいりたい。

◎近江八幡市立運動公園野球場ネーミングライツパートナー選定委員会設置要綱の
制定について

【事務局説明】…スポーツ課

【意見等】

○教育長

このネーミングライツパートナーが決まったら球場にどの様に表示される
か等、具体的なイメージとして説明をお願いしたい。また、ネーミングライツ
料は、徴収するのか。

○スポーツ課

ネーミングライツ料は教育長のおっしゃるとおりであるが、表示方法は
いろいろなパターンがある。愛称を野球場の入口に表示したり、ロケーション的
に湖岸道路に面しているの湖岸道路から見える野球場のスコアボードの裏
に表示したりを想定している。また、プロ野球の球場のように外野のフェンス
や人工芝に企業名を入れるなど、そういうことも想定できる。そして、パート
ナーの希望によっては、道路標識を現在「近江八幡市立運動公園」となってい
るところを、その下に「〇〇スタジアム近江八幡」とするようなことについて
も、また公安とも協議していきたいと考えている。

○西田委員

イメージとしては、彦根市の「平和堂HATOスタジアム」のようなイメ
ージか。HATOスタジアムの命名権は、年間1,000万円であったかと記憶
しているがどうか。

○スポーツ課

おっしゃるとおりである。HATOスタジアムが1,000万円、県営彦根
球場「HPLベースボールパーク」が370万円、皇子山球場「マイネットス
タジアム皇子山」が500万円、そのような事例があるので、球場の規模等を
鑑みて年間のネーミングライツ料を設定していきたいと考えている。

○教育長

イメージはそういうことであるが、要綱自体は、これで良いか。

○各委員

異議なし。

●報告事項

◎点検・評価ヒアリング結果について

【事務局説明】…教育総務課

【質問等】

○西田委員

見やすくまとめていただき、ありがたいと思う。一点だけ、細かいことになるが、この資料の26ページの一番下の項目に「必要がある感じる」とある。私が見つけたのはそこだけであったが、念のため全体の誤字脱字を再度チェックしていただくようお願いしたい。

○教育総務課

そうさせていただきたいと思う。

○教育長

教育委員の皆様にも評価委員として評価していただいたが、今回の評価方法は、前回と比べて工夫をしていただいたこともあると思うが、それに関してはどうか。

○教育総務課

報告書の14ページに「成果と課題」として中ほどに書かせていただいているが、今回の点検・評価では、各施策に紐づく取組について、各所属での実績や課題、現在の取組を確認していただき、施策目標の達成度や取組の施策に対する貢献度の観点から様々な立場・角度からの点検・評価をしていただいたところである。特に、評価の中では、本市の教育に関するポテンシャルが非常に高いという貴重なご意見をいただいたが、横の連携をさらに強化させるためのプラットフォームの必要性に係るご意見もいただいたところである。

○教育長

特に、この「横の連携をさらに強化させるためのプラットフォームの必要性」というところを強調して評価いただいていると思うので、このまとめた結果を踏まえて、各課で来年度に向けて更なる事業改善に取り組んでいただきたいと思います。

◎9月市議会定例会における質問に対する回答等について

【事務局説明】…教育総務課

【質問等】

○教育長

創政会の大川議員から「市内幼小中PTAの現状について」という質問があったが、市内においてもPTA活動が存続し難い小学校もあり、また、更なる議論でもってPTAを解散せざるを得ないという状況もある。この辺りについて、質問でなくとも、何かご意見があれば頂戴したい。

PTA活動は、どうしても衰退していく。一方で、学校運営協議会やコミュニティセンター等の学校を支えるような活動組織が、現在のところはいろいろと取り組んでいただいております、学校としては非常に心強い状況があるが、そのような取組は高齢の方のお力によるところも大きい。その方々がリタイアされる時期になったときに、後継の若い世代の方々が学校運営協議会やコミュニティセンターの活動に次々と参入してくるめどが立つのであれば、PTAが衰退する中でも、学校としては地域の方々に支えられながら運営している状況にあると思うが、そこが衰退したらどうなるのかという不安がある。

委員の皆様が普段学校や地域に関わっていただいている中で、何か感じるところがあればお伺いしたい。

○大更委員

学校運営協議会をはじめ、学校を支えてくださっているいろいろな団体があるが、PTA活動が衰退しているからといって、それらの団体にその部分を頼むというのは難しいと思う。また、保護者の意識が、だんだん厳しくなっていると感じる。私が現場にいたときも、PTAを抜けるという保護者と家でお話させていただいたこともあったが、そう感じている。PTAの会長になったら必ず出席しなければならなかったり、充て職があったり、県や諸団体が主催する行事にも参加しなければならなかったり、そういう部分も負担であるのだと思う。一番大きいのは、学校の中でこの地域からPTA会長を選ばなければならなかったり、学級の中で選挙をして決めなければならなかったりという部分ではないかと思う。

一方で、「助ける会」という形で、PTAは解散したけれども学校の支援をしていくような保護者の集まりがあって、結束は緩いが、「時間があるときに、できることをできるだけしていく」ということで取り組んでおられるということも聞いている。

正直「PTA」ということで、限定して活動を続けるのは厳しいと感じているが、ただ、そのしわ寄せが子どもたちに来てしまうのは残念に思う。

○西田委員

私は以前、市PTA連合会をさせていただいたこともあるが、おそらく平成30年頃であったか、東京の方からPTAの脱退というような動きが始まって、その後SNS等によって多くの方がそれを目にするようになり、「PTAは強制ではない」という風潮が広がり出したと記憶しており、県内では大津のどこかしらの学校で「PTAをやめる」、「市PTA連合会を抜ける」という現象が身近に起き始めたのではないかと思います。

昔のイメージからいうと、P T Aは母親がされていた。社会背景を見ると、昔は「父親が仕事に行って、母親が家にいて家や子どものことをする」というイメージであったが、今ではほとんどの家庭が共働きで時間もなく、塾も連れていかなければならず、子どもが友達と遊びに行くのでも送り迎えがあるというような時代になってきた。このように時間がない中で、例えば「平日の夜に学校に集まってP T A活動をしよう」となっても、それは難しいと思う。P T Aの役員になりたくないという人にその理由を聞いてみると、「時間がない」という方が多い。

また、そもそも「本部役員になりたくない」、「大変そうで時間を取られるから困る」、「人前でしゃべるのが嫌だ」という方は結構多くいらっしゃる。一方で、P T A活動に積極的な方もおられる。だからといって、そういう方々に全部を押しつけるのは良くないと思うが、昨日の体育大会も、P T Aと言って良いのか分からないが、保護者の役割がとても大きかった。今後は、「P T A」という形にこだわらず、保護者会でも助ける会でも良いが、形は変われど何かしら子どもたちの成長を見守る仕組みがあると良いと思っている。

○教育長

本市においても、徐々にP T Aを解散する方向に進んできている。その中で、教育委員会として学校を取り巻く環境に対して支援を求められるのか、あるいは支援を求めないのか、求めないとすれば行政でバックアップしていくのか、いろいろな方向性が考えられると思うので、いずれ、適切な時期に教育委員会定例会でもご議論いただければと思う。

◎近江八幡市校務系システム更新サービス提供事業者選定委員会設置要綱について

【事務局説明】…教育総務課

【質問等】

○大更委員

確認だが、校務系システムは、市の大きなシステムにもつながっているのか。

○教育総務課

市の行政のシステムとは別で、学校内の校務のシステムである。

◎近江八幡市外国語指導助手派遣事業者選定委員会設置要綱について

【事務局説明】…学校教育課

【質問等】

○重森委員

要綱が制定されたが、外国語指導助手は、子どもたちに直接関わることにな

るので、より良い助手を抱える事業者を選定していただきたい。子どもたちにとって良い影響を与えるようにお願いしたい。

○学校教育課

只今頂戴した意見については、10月に開催予定の選定委員会の委員の方々にも、しっかりとお伝えさせていただく。

◎国スポ・障スポ会場装飾品製作にかかるクラウドファンディング（【LEGOで作ろう 幻の安土城】クラウドファンディング）の実施について

【事務局説明】…国スポ・障スポ推進課

【質問等】

○西田委員

2点伺いたい。まず、クラウドファンディングの目標設定額が70万円ということだが、事業の予算総額はどれほどか。また、そのリターン率はいかほどか。大体の数字で良いのでお教え願いたい。

○国スポ・障スポ推進課

事業としては、150万円程度を想定している。そのうち半分程度を、クラウドファンディングで資金を募りたいということである。

リターン率は、商品によって変わると思うが、細かな率は資料を持ち合わせていない。

ただ、協賛品は全て企業から提供していただくので、おおむねいただいた額よりも、商品としては少し良いものとなる。

○教育長

リターン品というのは、行政としては協賛してもらった企業から無償で提供していただき、それを元にクラウドファンディングに参加された方にお返しするというので、原価がかかっていないということか。

○国スポ・障スポ推進課

通常は、こちらもいくらかの持ち出しでリターン品なりを準備することが多いと思うが、今回は、国スポ・障スポの趣旨から各企業にお願いして、クラウドファンディング以外の部分でも協賛いただいているので、リターン品は全て企業持ちでさせていただいている。

◎令和6年度就学相談・支援に係る教育支援委員会の審議結果について（非公開）

8. その他

9. 閉会

教育長が9月定例会の閉会を宣言